

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|--------|
| 豊田工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和04年度 (2022年度) | 授業科目 | 総合英語 I |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 90011 | 科目区分 | 一般 / 必修 | | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | | |
| 開設学科 | 情報科学専攻 | 対象学年 | 専1 | | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | | |
| 教科書/教材 | 必要に応じてプリント配布 | | | | |
| 担当教員 | 市川 裕理 | | | | |
| 目的・到達目標 | | | | | |
| (ア)様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。 (イ)様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。 (ウ)英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目(ア) | 様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。 | 様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を教員の助言を参考にしながら理解し、使用することができる。 | 様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができない。 | | |
| 評価項目(イ) | 様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。 | 様々な話題について、教員の助言を参考にしながら英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。 | 様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができない。 | | |
| 評価項目(ウ) | 英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。 | 英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を教員の助言を参考にしながら習得する。 | 英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得できない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 C3 英語によるコミュニケーション基礎能力をもっている。 JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 様々な話題について、学んだことや経験したことに基づき、自分の意見や感想を英語を用いて表現し、意見交換できるようにすることを目標とする。さらに、英語を学ぶことを通じて、多様なものの見方や考え方を理解することで、思考力を養う。 | | | | |
| 授業の進め方と授業内容・方法 | 教科書の内容理解を行った上(introduction)で、英語によるやりとり(interaction)と発表(presentation)を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。授業は基本的に、調べ学習・意見交換・発表(個人またはグループ)の流れで行う。 | | | | |
| 注意点 | 英和辞典(紙または電子辞書)を持参すること。授業内容について、各ユニットの課題に取り組み、発表にあたっては、各自練習をした上で臨むこと。また、質疑応答、意見交換を行う際には、積極的に自分の考えを述べること。テーマについてはSDGsに関連するものを中心に扱う。「情報科学」教育プログラムの必修科目である。 | | | | |
| 選択必修の種別・旧カリ科目名 | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容・方法 | 週ごとの到達目標 | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ガイダンス、テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 授業目標を理解する。自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion) | |
| | 2週 | テーマ①に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion) | | |
| | 3週 | テーマ①に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。 | 評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。 | | |
| | 4週 | テーマ②に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion) | | |
| | 5週 | テーマ②に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。 | 評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。 | | |
| | 6週 | テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion) | | |
| | 7週 | テーマ③に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion) | | |
| | 8週 | テーマ③に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。 | 評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。 | | |
| | 9週 | テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion) | | |
| | 10週 | テーマ④に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。(Discussion) | | |
| | 11週 | テーマ④に関するプレゼンテーション(自学自習内容) 発表原稿作成、練習する。 | 評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。 | | |
| | 12週 | テーマ⑤に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 様々な立場からディスカッションを行うことができる。(Debate) | | |
| | 13週 | テーマ⑤に関するディスカッション(自学自習内容) テーマについて調べ学習をする。 | 様々な立場からディスカッションを行うことができる。(Debate) | | |

| | | | |
|--|-----|---------------------------------------|-----------------------------------|
| | 14週 | テーマ⑤に関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。 | 評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。 |
| | 15週 | 総合英語 I のまとめ | これまでの内容を踏まえて、ディスカッションを行うことができる。 |
| | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|---------|----|------|-----------|-------|-----|
| 評価割合 | | | | | |
| | | 定期試験 | 課題 | 合計 | |
| 総合評価割合 | | 50 | 50 | 100 | |
| 分野横断的能力 | | 50 | 50 | 100 | |